

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

斜面

2022.1.29

あの時に19歳の予備校生だった男性は今、どうしているだろうか。2011年2月、京都大の入試で問題文を携

帯で質問サイトに投稿し、解答を求めた。2時間に十数回も書き込む大胆さが謎を呼び、日本中が犯人捜しに躍起になった◆京都大が被害届を提出。京都府警は山形県出身の男性を逮捕した。発覚を避けるような工作もない稚拙な手口だった。男性は高校3年時に父親が死亡。母親に負担をかけないよう国立大合格を自らに課す。センター試験が振るわず、追い詰められていた◆山形新聞によれば「不処分」の家族の決定を受け、男性は「ルールを守り真面目に生きていく」と弁護士に語った。眼前しか見えず視野も狭まれば人の心には不意に悪魔が忍び込む。共通テストの問題をスマホで撮影して外部に送信した19歳の女子大学生も「魔が差した」という◆事前に家庭教師サイトで解答できる東大生らに目星をつけた。用意周到に見えて簡単に特定される痕跡を残している。「スマホネーティブ」の世代だ。幼いころから傍らにあるスマホは、願いを何でもかなえるドラえものの「どこでもドア」なのだろう◆スマホを使いこなせない世代には分厚く見える不正のドアも苦もなく開けてしまう。先に続くいばらの道は想像できない。カメラ付きの眼鏡など試験で悪用されかねない端末が開発されている。技術革新がもたらす魔の誘いから若者の未来をどう守るか。監視を強めれば済む問題ではない。

斜面

2022.1.31

28歳の男性が自転車に乗って夜道を急いでいた。雨が降っていて前がよく見えない。汗と雨が目に入ってくる。

手で拭った次の瞬間だった。横断歩道を渡っている人がいるのに気付いて慌てて急ブレーキをかけたが、間に合わなかった◆彼は食事宅配サービス「ウーバーイーツ」の配達員。歩行者にぶつかり死亡させたとして、業務上過失致死の罪で在宅起訴された。事故は昨年4月。東京地裁で今月開いた初公判で、泣きながら謝罪した。「取り返しの付かないことをしてしまった」と◆ウーバーイーツは、スマホのアプリ上で配達を仲介するサービスだ。「Uber」と書かれた四角いリュックを背負う姿は県内でも見かけるようになった。配達員は一人一人が個人事業主としてスマホを介して依頼を受け、飲食店から客へ食事を運び、出来高に応じた収入を得る◆この報酬体系に「クエスト」という仕組みがある。配達時の天候状況や件数など、一定の条件をクリアすれば増額されるといふものだ。困難なほど高い。人を効率よく動かすためのゲーム的な手法。事故があった日、彼は必死に、クエストを追っていた◆ウーバー配達員としての自身の日々をドキュメンタリー映画「東京自転車節」にした監督の青柳拓さんが、昨夏の本紙の記事で述べている。「システムが機械的で、どこか人間扱いされていない感じがする」。進化を続ける便利なサービスが、ゲームの駒とされた人々の上に築かれている。

しゃめん
1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 1. 29

あのときに19さいのよびこうせいだった。ただんせいはいま、どうしているだろうか。

2011ねん2がつ、きょうとだいのにゆうしてもんだいぶんをけいたいです。しつもんサイトにとうこうし、かいとうをもとめた。2じかにじゆうすうかいもかきこむだいたんさがなぞをよび、にほんじゆうがはんんにんさがしにやっきになった。◆きょうとだいがひがいとどけをていしゆつ。きょうとふけいはやまがたけんしゆっしんのだんせいをたいほした。はっかくをさけるようなこうさくもないちせつなてぐちだった。だんせいはいこうこう3ねんじにちちおやがしぼう。はおやにふたんをかけないようこくりつだいがうかくをみずからにかす。センターしけんがふるわず、おいつめられていた。◆山形新聞によれば「ふしよぶん」のかさいのけつていをうけ、だんせいは「ルールをまもりまじめにいきっていく」とべんごしにかたった。がんぜんしかみえずしやもせばま

ればひとのころにはふいにあくまがしのびこむ。きょうつうテストのもんだいをスマホでさつえいしてがいにそうしんした19さいのじよしだいがくせいも「まがさした」という。◆じぜんにかていきょうしサイトでかいとうできるとうだいいらにめぼしをつけた。よいいしゆうとうにみえてかんとんとくといされるこんせきをのこしている。「スマホネーティブ」のせだいだ。おさないころからかたわらにあるスマホは、ねがいをなんでもかなえるドラえものの「どこでもドア」なのだろう。◆スマホをつかいこなせないせだいはぶあつくみえるふせいのドアもくもなくあけてしまふ。さきにつづくいはらのみちはそうぞうできない。カメラつきのめがねなどしけんであくようされかねないたんまつがかいはつされてい。ぎじゆつかくしんがもたらすまのさそいからわかもののみらいをどうまもるか。かんしをつよめればすむもんだいではない。

コラム「^{しゃめん}斜面」を読んで考えを深めよう

解答例

年 組 名前

斜面

2022.1.31

28歳の男性が自転車に乗って夜道を急いでいた。雨が降っていて前がよく見えない。汗と雨が目に入ってくる。

手で拭った次の瞬間だった。横断歩道を渡っている人がいるのに気付いて慌てて急ブレーキをかけたが、間に合わなかった◆彼は食事宅配サービス「ウーバーイーツ」の配達員。歩行者にぶつかり死亡させたとして、業務上過失致死の罪で在宅起訴された。事故は昨年4月。東京地裁で今月開いた初公判で、泣きながら謝罪した。「取り返しの付かないことをしてしまった」と◆ウーバーイーツは、スマホのアプリ上で配達を仲介するサービスだ。「Uber」と書かれた四角いリュックを背負う姿は県内でも見かけるようになった。配達員は一人一人が個人事業主としてスマホを介して依頼を受け、飲食店から客へ食事を運び、出来高に応じた収入を得る◆この報酬体系に「クエスト」という仕組みがある。配達時の天候状況や件数など、一定の条件をクリアすれば増額されるというものだ。困難なほど高い。人を効率よく動かすためのゲーム的な手法。事故があった日、彼は必死に、クエストを追っていた◆ウーバー配達員としての自身の日々をドキュメンタリー映画「東京自転車節」にした監督の青柳拓さんが、昨夏の本紙の記事で述べている。「システムが機械的で、どこか人間扱いされていない感じがする」。進化を続ける便利なサービスが、ゲームの駒とされた人々の上に築かれている。

①ウーバーイーツの配達員は、ウーバーイーツの従業員でなく、どんな立場で仕事をしているのですか。

【解答】個人事業主

②コラム「斜面」は、「クエスト」という仕組みについて、どんな手法と述べていますか。

【解答】人を効率よく動かすためのゲーム的な手法

③筆者の考えに対して、あなたはどのように考えますか。200字程度で書きましょう。

Grid for writing answers to question 3.

1面のコラム「斜面」を読もう

斜面

2022.1.29

あの時に19歳の予備校生だった男性は今、どうしているだろうか。2011年2月、京都大の入試で問題文を携

帯で質問サイトに投稿し、解答を求めた。2時間に十数回も書き込む大胆さが謎を呼び、日本中が犯人捜しに躍起になった◆京都大が被害届を提出。京都府警は山形県出身の男性を逮捕した。発覚を避けるような工作もない稚拙な手口だった。男性は高校3年時に父親が死亡。母親に負担をかけないよう国立大合格を自らに課す。センター試験が振るわず、追い詰められていた◆山形新聞によれば「不処分」の家族の決定を受け、男性は「ルールを守り真面目に生きていく」と弁護士に語った。眼前しか見えず視野も狭まれば人の心には不意に悪魔が忍び込む。共通テストの問題をスマホで撮影して外部に送信した19歳の女子大学生も「魔が差した」という◆事前に家庭教師サイトで解答できる東大生らに目星をつけた。用意周到に見えて簡単に特定される痕跡を残している。「スマホネーティブ」の世代だ。幼いころから傍らにあるスマホは、願いを何でもかなえるドラえものの「どこでもドア」なのだろう◆スマホを使いこなせない世代には分厚く見える不正のドアも苦もなく開けてしまう。先に続くいばらの道は想像できない。カメラ付きの眼鏡など試験で悪用されかねない端末が開発されている。技術革新がもたらす魔の誘いから若者の未来をどう守るか。監視を強めれば済む問題ではない。

斜面

2022.1.31

28歳の男性が自転車に乗って夜道を急いでいた。雨が降っていて前がよく見えない。汗と雨が目に入ってくる。

手で拭った次の瞬間だった。横断歩道を渡っている人がいるのに気付いて慌てて急ブレーキをかけたが、間に合わなかった◆彼は食事宅配サービス「ウーバーイーツ」の配達員。歩行者にぶつかり死亡させたとして、業務上過失致死の罪で在宅起訴された。事故は昨年4月。東京地裁で今月開いた初公判で、泣きながら謝罪した。「取り返しの付かないことをしてしまった」と◆ウーバーイーツは、スマホのアプリ上で配達を仲介するサービスだ。「Uber」と書かれた四角いリュックを背負う姿は県内でも見かけるようになった。配達員は一人一人が個人事業主としてスマホを介して依頼を受け、飲食店から客へ食事を運び、出来高に応じた収入を得る◆この報酬体系に「クエスト」という仕組みがある。配達時の天候状況や件数など、一定の条件をクリアすれば増額されるといふものだ。困難なほど高い。人を効率よく動かすためのゲーム的な手法。事故があった日、彼は必死に、クエストを追っていた◆ウーバー配達員としての自身の日々をドキュメンタリー映画「東京自転車節」にした監督の青柳拓さんが、昨夏の本紙の記事で述べている。「システムが機械的で、どこか人間扱いされていない感じがする」。進化を続ける便利なサービスが、ゲームの駒とされた人々の上に築かれている。

1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 1. 29

あのときに19さいのよびこうせいだった。ただんせいはいま、どうしているだろうか。

2011ねん2がつ、きょうとだいのにゆうしでもんだいぶんをけいたいです。しつもんサイトにとうこうし、かいとうをもとめた。2じかにじゆうすうかいもかきこむだいたんさがなぞをよび、にほんじゆうがはんになんさがしにやっきになった。◆きょうとだいがひがいとどけをていしゆつ。きょうとふけいはやまがたけんしゆっしんのだんせいをたいほした。はっかくをさけるようなこうさくもないちせつなてぐちだった。だんせいはこうこう3ねんじにちちおやがしぼう。はおやにふたんをかけないようこくりつだいたいごうかくをみずからにかす。センターしけんがふるわず、おいつめられていた。◆山形新聞によれば「ふしよぶん」のかさいのけつていをうけ、だんせいは「ルールをまもりまじめにいきっていく」とべんごしにかたった。がんぜんしかみえずしやもせばま

ればひとのころにはふいにあくまがしのびこむ。きょうつうテストのもんだいをスマホでさつえいしてがいにそうしんした19さいのじよしだいがくせいも「まがさした」という。◆じぜんにかていきょうしサイトでかいとうできるとうだいいらにめぼしをつけた。よいいしゆうとうにみえてかんとんとくといされることんせきをのこしている。「スマホネーティブ」のせだいだ。おさないころからかたわらにあるスマホは、ねがいをなんでもかなえるドラえものの「どこでもドア」なのだろう。◆スマホをつかいこなせないせだいはぶあつくみえるふせいのドアもくもなくあけてしまふ。さきにつづくいばらのみちはそうぞうできない。カメラつきのがねなどしけんであくようされかねないたんまつがはいはつされてい。ぎじゆつかくしんがもたらすまのさそいからわかもののみらいをどうまもるか。かんしをつよめればすむもんだいではない。

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2022.1.31

28歳の男性が自転車に乗って夜道を急いでいた。雨が降っていて前がよく見えない。汗と雨が目に入ってくる。

手で拭った次の瞬間だった。横断歩道を渡っている人がいるのに気付いて慌てて急ブレーキをかけたが、間に合わなかった◆彼は食事宅配サービス「ウーバーイーツ」の配達員。歩行者にぶつかり死亡させたとして、業務上過失致死の罪で在宅起訴された。事故は昨年4月。東京地裁で今月開いた初公判で、泣きながら謝罪した。「取り返しの付かないことをしてしまった」と◆ウーバーイーツは、スマホのアプリ上で配達を仲介するサービスだ。「Uber」と書かれた四角いリュックを背負う姿は県内でも見かけるようになった。配達員は一人一人が個人事業主としてスマホを介して依頼を受け、飲食店から客へ食事を運び、出来高に応じた収入を得る◆この報酬体系に「クエスト」という仕組みがある。配達時の天候状況や件数など、一定の条件をクリアすれば増額されるというものだ。困難なほど高い。人を効率よく動かすためのゲーム的な手法。事故があった日、彼は必死に、クエストを追っていた◆ウーバー配達員としての自身の日々をドキュメンタリー映画「東京自転車節」にした監督の青柳拓さんが、昨夏の本紙の記事で述べている。「システムが機械的で、どこか人間扱いされていない感じがする」。進化を続ける便利なサービスが、ゲームの駒とされた人々の上に築かれている。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

()

()

()

伝えたい順番